

製品名: PDPK1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87665**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:63 kDa; Observed MW:63 kDa

抗原情報

遺伝子名	PDPK1
別名	PKD1; PDK2; PDK2P; PRO0461
遺伝子ID	5170
SwissProt ID	O15530
免疫原	ヒト PDPK1 の合成ペプチド

背景

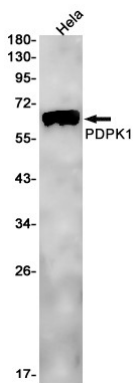
マスターキナーゼとして機能するセリン/スレオニンキナーゼ。AGCファミリーのタンパク質キナーゼのサブグループをリン酸化およ

び活性化します。標的は、タンパク質キナーゼ B (PKB/AKT1、PKB/AKT2、PKB/AKT3)、p70 リボソームタンパク質 S6 キナーゼ (RPS6KB1)、p90 リボソームタンパク質 S6 キナーゼ (RPS6KA1、RPS6KA2、RPS6KA3)、サイクリック AMP 依存性タンパク質キナーゼ (PRKACA)、タンパク質キナーゼ C (PRKCD、PRKCZ)、血清およびグルココルチコイド誘導性キナーゼ (SGK1、SGK2、SGK3)、p21 活性化キナーゼ 1 (PAK1)、タンパク質キナーゼ PKN (PKN1、PKN2) です。

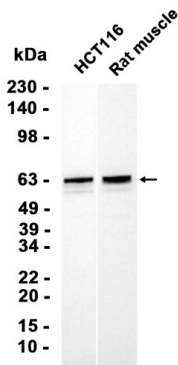
研究分野

-

画像データ



PDPK1 抗体 (1:1000 希釈) を使用した HeLa 細胞溶解物中の PDPK1 のウエスタン ブロット検出。



AMRe87665 を 1:1000 で使用して、HCT116 細胞およびラット筋肉組織からの抽出物のウエスタン ブロット分析を行いました。